

① 不動明王道標 天保11年（1840年）8月に

造立されました。

「不動明王右へ一丁」と刻んだ道標です。

不動明王は宝蓮寺（亀戸四丁目）にありました。



② 東覚寺道標 新四国八十八か所霊所東覚寺への道標、天保12年（1841年）5月の  
建立です。

③ 府内八十八か所札所旧跡 東覚寺は府内八十八  
か所の第73番の札所である札所御詠歌を記した標石があります。

## 8 香取神社 亀戸三丁目57番

恵比寿神（愛敬富財）



大国神（有富蓄財）



① 香取神社旧跡

天智天皇4年（665年）の創立であり、江東区において最も古い社寺です。

藤原鎌足が東国へ船を進めたとき、大刀を納め香取大神をこの地に招いたという伝説があります。江戸時代東都古跡12社の1つに上げられ、江戸名所函会に、広大な神社の全景が掲げてあります。



江戸名所函会「香取太神宮」（画像提供：深川江戸資料館）

② 亀の島旧跡 当初から吾孺森（墨田区）に

かけて、大昔は亀の形に似た亀の島という海に

浮かぶ一島であったといひます。亀の島に亀村が

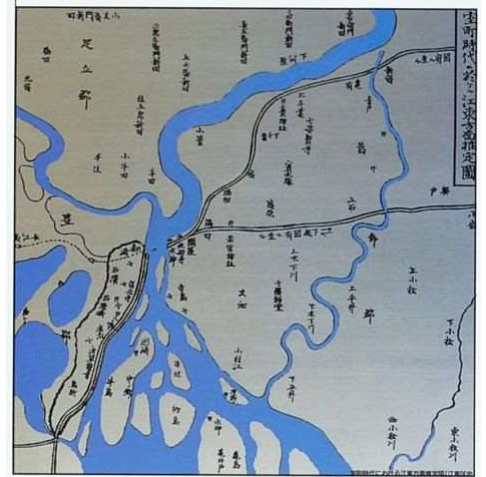
でき、またそこに亀が井という井戸があり、

両名が混交し亀井戸村となったと伝えられて

います。江戸時代、井の字がとれて亀戸村と

なりましたが、発音は昔のまま「かめいど」といひ

ます。この由来を記した亀の島の碑が当社にありましたが戦災のため滅失しました。



室町時代の江東方面推定図（江東区史より）

③ 道祖神祭由来 当社に1メートルほど

の小船が2隻保存されています。江戸時代、

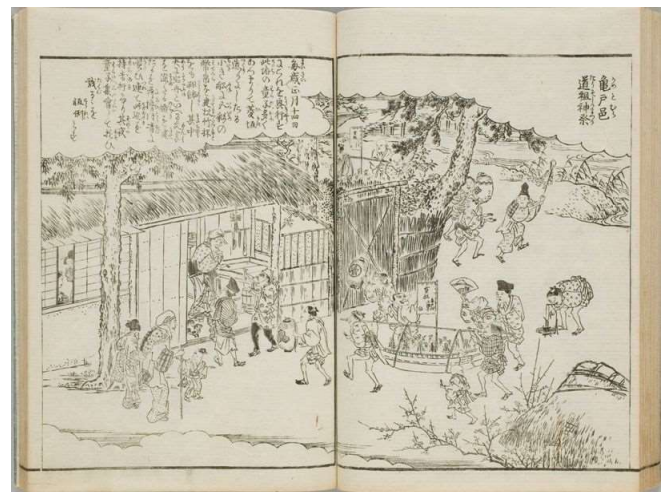
毎年1月14日、付近の子供が集まり、

船に宝の文字の入った幟をたて「千艘や、

万艘や、塞の神祭れ」と唄いながら各戸を

回る道祖神祭が行われました。

その情景が江戸名所図会に描かれています。



江戸名所図会「亀戸邑道祖神祭」（画像提供：深川江戸資料館）

④ 弥生式土埴由来 付近の太平榎塚（亀戸三丁目）から発掘された漁網用の弥生式土製の土埴が数個当社の社宝として保存されています。

⑤ 大杉大明神旧跡 享保12年（1727年）、稲敷郡阿波村（茨城県）のけ大杉大明神が当社に飛来したといひので、人々が群集して大変な騒ぎとなりました。奉行所は参詣を禁止したほどです。そのときの「大杉殿」の扁額が当社に保存してあり、書家佐々木文山の筆跡です。

⑥ 木遣音頭の碑 江戸木遣の由来を記した碑が昭和27年4月建立されました。木遣は江戸城築城の際おきたといひ、起源は建仁2年（1202年）に遡るといひます。当社宮司香取茂世の撰文書です。

⑦ 日露戦役記念百度碑 明治38年10月建立された日露戦争の記念の大きな碑です。

⑧ かとりじんじゃきんせきぶん  
香取神社金石文

- \* いしこまいぬいつい かんせい ねん (1795年) 11月、しおはらだいすけ にん ほうのう こまいぬ  
石狛犬一対 寛政7年 (1795年) 11月、塩原太助ら14人が奉納した狛犬です。
- \* ちからいし こ ほん  
力石 1個が保存されています。

⑨ かめいどだいこん ひ え ど ま っ き じんじやしゅうへん ちゅうしん  
亀戸大根の碑 江戸末期にこの神社周辺を中心に

だいこん さいばい はじ とうじ きせつてき た だいこん  
大根の栽培が始まりました。当時は季節的に他の大根が  
なく、えどっこ かめいどだいこん よ たいへんちようほう  
なく、江戸っ子に亀戸大根と呼ばれ大変重宝がられて  
いました。

きねん ひ へいせい  
記念碑は平成11年 (1999) 年に建てられ  
かめいどだいこんふくわけまつり だいこんまんじゅう かめいどだいこん ぶるまわ  
亀戸大根福分け祭りで大根饅頭や亀戸大根が振舞われ  
ています。



9 ふもんいん さんちようめ ばん 毘沙門天 (勇氣授福)



① ふもんいんほんしやうきやうせき ふもんいん げん な ねん  
普門院梵鐘旧跡 普門院が元和2年 (1616年)

いしはま あらかわく いてん  
石浜 (荒川区) からここに移転したとき、  
ほんしやう すみだがわ てんらく いらい ち  
梵鐘が隅田川に転落しました。以来その地を  
かね ぶち すみたく いう  
鐘が淵 (墨田区) というようになりました。  
きやうほう ねん (1735年) 3月28日 梵鐘が  
さいちゆう かね ほんきん  
再鑄されましたが、この鐘の募金には  
あこうろうし ほりべや へえ むすめ みやうかいあま  
赤穂浪士、堀部弥兵衛の娘という妙海尼が  
じんりやく つた  
尽力したと伝えられています。



江戸名所図会「普門院」(画像提供: 深川江戸資料館)

ほんしやう せんじちゆう ぐん きやうしゆつ  
この梵鐘は戦時中、軍に供出しました。

- ② おうえい いしどうろう おうえい ねん (1421年) こんりゆう いしどうろう いっき  
応永の石灯籠 応永28年 (1421年) 建立された石灯籠一基があります。  
(江東区最古の石灯籠です)

③ 伊藤左千夫の墓 左千夫は明治22年本所茅場町

(錦糸町駅付近)に住み、酪乳業を営んでいまし

たが、明治33年、正岡子規の門に入り根岸派短歌  
の重鎮となりました。

歌壇アララギを主宰し近代短歌の興隆に力を

尽し、晩年は大島六丁目(日本住宅公園々地)に

住み、大正2年7月30日50歳で亡くなりました。墓石の文字は友人中村不折の書です。

亀井戸の藤も終りと

雨の日をからかさして ひとり見に来し



④ 戦災殉難者供養塔

5メートルの巨大な碑で、戦災供養塔としては

最大です。元々は、亀戸駅前に戦災殉難者供養の

ため、昭和21年7月15日建立され、後に普門院

に移されました。

表の題字は増上寺管長椎尾弁匡の揮毫、碑文は

城東警察署長であった吉里貞雄、書は長谷川耕雨

の筆跡です。



⑤ 古筆了意の碑 了意は神田道古、古筆八代目を継ぎ、天保5年(1834年)8月、

84歳で亡くなりました。翌年7月、門弟がこの碑を建立しました。

⑥ 木食上人の碑 高さ2メートル、文政10年(1827年)大師講中が建立しました。

⑦ 疎影の句碑 天明3年(1783年)6月23日、疎影の句碑が建立されました。

⑧ 札所の道標 高さ1・3メートルの道標で、宝暦9年(1759年)9月に建立されま

した。四国八十八か所40番、江戸三十三か所30番の普門院へ行く道を示す道標です。

⑨ 松本魯山の碑 魯山は名を元房、通称を半右衛門といいました。書家であって諸芸に

通じ、元文3年(1738年)10月16日59歳で亡くなりました。翌年1月この碑が建立

されました。

⑩ 普門院石仏

\* 石地藏二体 寛文3年（1663年）8月20日、念仏講中が造立した石地藏2体があります。

\* 庚申塔 寛文8年（1668年）10月1日造立された三猿の庚申塔です。

⑪ 横綱秀の山の墓

幕末の力士横綱、秀の山雷五郎の墓があります。

五尺四寸（163.6cm）という歴代横綱の中では一番低い身長でした。

体重は四十二貫（161.5kg）。小柄であったため入門当時は雑用ばかり

やらされ稽古もつけてもらえませんでした。この逆境が猛烈な闘志を

生み出しました。肥満体で前や横に脆い弱点を猛稽古で補ったそうです。



「秀ノ山雷五郎横綱土俵入之図」国会図書館蔵

39歳で横綱に推挙され、入門から横綱昇進まで19年かかりました。

優勝相当成績6回。幕内通算27場所112勝21敗33分2預96休、勝率.842。その姿は多くの浮世絵に残されています。

⑫ 竹柴瓢飴の墓 狂歌文亭梅彦、狂言作者で、明治29年に亡くなりました。

10 光明寺 亀戸三丁目42番

① 歌川豊国（国貞）の墓 国貞は役者絵、美人画

を得意とする、江戸末期最多数の作品を残した

錦絵画家でした。五ツ目の渡し（五ノ橋付近）

の株を持っていたので五渡亭と号しました。

亀戸天神前にも住んでいましたが、のち柳島

（墨田区）に移りました。元治元年（1864年）12月15日79歳で亡くなりました。

墓石の五渡亭の文字は蜀山人の筆跡です。国貞一族の墓がここにありま

江東区において国貞の略歴を記した石標柱を建立しました。



「湯上がり美人図」国立博物館蔵

② **竿忠の墓** 竿忠は中根忠吉と称し釣竿造りの名人で、俳号を雨雀と号しました。昭和6年3月13日67歳で亡くなりました。洲崎神社（木場六丁目）に頭山満筆跡の竿忠の碑が昭和6年9月13日建立されました。

③ **戦災殉難者供養碑** 戦災で殉難した城東三業関係者の供養碑を昭和36年3月10日城東三業組合が建立しました。境内に戦災殉難者供養のための石地藏が造立されています。

④ **光明寺の金石文**

\* **忠五郎の碑** 地藏造立に力を尽した忠五郎の碑が弘化5年（1848年）3月建立されました。

\* **庚申塔** 文字塔、三猿が刻まれ延宝4年（1676年）8月10日造立された庚申塔です。

\* **石水盤** 文化10年（1813年）8月、地藏講中が奉納した石手水鉢です。

\* **石灯笼** 東叡山叡有院供養のため延宝9年（1681年）新発田城主が奉納した石灯笼です。

1.1 **天祖神社 亀戸三丁目38番 福祿寿** (人望福德)



① **天祖神社歩射由来**

江戸時代（天正年間-1573）から毎年

9月16日に、流鏝馬の行事、歩射を

おこなってきました。疫病払いに始まる

行事で、現在では、心身の成長を祈願

する子供歩射となっています。神幸祭

には、一本材では日本一といわれる

獅子頭が出ます。



② **東条琴台の碑** 琴台は名を耕、字を子蔵、通称を文左衛門といい著書が多く存在します。高田藩に招かれましたが、明治維新後、当社の祠官となり明治11年84歳で亡くなりました。琴台の業績を刻した碑があります。